

# 平成15年度事業報告書

特定非営利活動法人 萩子どもセンター

## 1. 事業の方針

### わたしたちがすすんでいる地域のすべての子どもたちを育む文化活動をめざす

#### (1) 豊かな鑑賞活動をめざそう

今年度は舞台鑑賞会を3公演、子ども文化交流フェスティバル作品を1公演開催、山口県子ども舞台芸術フェスティバルでは会としては取り組めませんでした。近隣市町村フェスティバルのサポートを5箇所行いました。また今年初めて外部団体より公演の相談があり、招聘事業として紹介することができました。

しかし、公演への参加者の減少やスタッフ不足という悩みを抱え、ニーズや事業の見直しをする必要があることも実感しました。

舞台鑑賞会は、初めてワークショップ付きの観客参加型の公演に取り組み、27人のどんぐりっ子（どんぐりと山猫のどんぐりの役）が初舞台に立ち、達成感を味わいました。今年も中高生を中心に実行委員会を形成し、運営した「5（ファイブ）」は、舞台と観客が一体となって大いに盛り上がりました。2年続けて子どもが運営に参画できた成果を基にして、これからもいろいろな形で子どもの主体的な参画につながる活動を続けていきたいと思えます。

#### (2) 子どもの権利条約の啓発につとめよう

子どもセンターおやこニュース紙上において、毎月「子どもの権利条約を知ろう」としてシリーズで掲載し、広く一人一人の会員さんからたくさんの地域の方に子どもの権利について関心が広がるよう努力しました。

#### (3) 人の集まる、人から頼りにされる「萩子どもセンター」になろう

地域を巻き込んだ活動広げ、認知度が深まりました。特に、今年度は事務所のある田町のみなさんと協力、応援体制ができ、これからの活動に広がりが見えてきました。

ストリートダンスやピヨピヨの会など、会員、会員外の参加も広がり、子どもの居場所、大人の居場所としての役割たすことができました。子どもたちは、いろいろな活動を通して、リーダーとして成長してきました。

事業を会員だけで担うのではなく、企業、行政、団体が参画・協働し、お互いの強みを生かし、子どもが育つ豊かな環境を作り出すことが必要です。積極的に情報を公開し、多くの個人や団体の参加や支援を得る「萩子どもセンター」にしていきたいと思います。

県活動ボランティアフェスティバル2003（11月9日）において、功績が認められ表彰を受けました。これからの活動に大いに励みになりました。

## 2. 事業の実施に係る事項

### (1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	受益対象者の範囲及び予定人数
舞台鑑賞事業	舞台鑑賞 生の舞台を親子で体験する事により、感性を揺さぶり心を育てることを目的とし、プロの創造団体による年4回程度の公演の企画、実施。 ・エルマーのぼうけん（人形劇団プーク）	5月20日	萩市民館	208人

	<p>事前の取り組みとして、こどもまつりでの「エルマーのぼうけん」体験をしました。(担当：中央ブロック)</p> <p>・ハラどんぐりと山猫と林から聞こえたきた歌 (こんにやく座)</p> <p>どんぐり役で公募の子どもたち27人が共演。5回のワークショップを取り組みました。子どもたちへのプレゼントに自然の素材を使ったフォトプレートを担当ブロックが子どもと作成しました。(担当：檜東ブロック)</p> <p>・ミュージカル「5」 (演劇企画オフィス・アートプラン)</p> <p>中高生を中心とした実行委員会を組織し、宇部公演の下見や広報一般参加の呼びかけ、当日の会場担当など活躍しました。(実行委員18人)</p>	18:30～	大ホール	
		9月28日 19:00～	萩市民館 大ホール	273人
		11月6日 19:00～	萩市民館 大ホール	293人
	<p>子ども舞台芸術小公演 (フェスティバル)</p> <p>子どもたちが歩いて行ける身近な場所で、友だちといっしょに生の舞台を体験する、日頃鑑賞会が実施できない地域での取り組みを目的とした、プロの創造団体による舞台小公演。山口県子ども舞台芸術フェスティバル (子ども劇場山口県センター)</p> <p>今年度は、周辺地域のサポートをしました。</p>	6月10日 6月12日 6月13日 6月14日 6月21日	見島 福栄村 楠木町 須佐町 秋芳町 旭村明木 むつみ村	スタッフ 延べ15人
	<p>特別鑑賞事業 (子ども文化交流フェス)</p> <p>・エリック・カール スペシャル (会場担当) (カガタ：マーマード・シアター・オブ・ノーバースコープ)</p> <p>全国で展開した子どもの文化交流体験事業「子ども文化交流フェスティバル2004」で、子どもの読書体験と舞台芸術体験として、舞台鑑賞を担当しました。 (担当：中央ブロック)</p>	16年 3月25日	萩市民館 大ホール	239人 スタッフ 8人
	<p>招聘事業</p> <p>・松元ヒロ・ソロライブ (松元ヒロ) 福栄ふるさとまつりに公演を提供しました。</p>	11月2日	福栄村	スタッフ 1人
子どもの諸活動 支援事業	<p>高学年活動</p> <p>4年生以上の子どもを対象に交流会の企画、実施。</p> <p>6月 スポーツ交流</p> <p>10月 お団子パーティー</p> <p>1月 新年会</p> <p>2月 お好み焼きパーティー</p> <p>3月 お別れ会</p>	6月14日 10月18日 1月24日 2月21日 3月27日	明倫小体育館 事務所 " " 指月公園	8人 14人 悪天候のため中止 11人 16人
	<p>ストリートダンス</p> <p>前年度後半から毎週水曜日に女の子、金曜日に男の子の練習が定例化。サポートする側の人員確保が難しい状況であり、次年度に向けて、子どもの居場所と子どもからの要望をサポートを含めどう実現できるか課題が残った。</p> <p>田町商店街の土曜夜市でのイベント似参加萩 夏まつりでのダンスもすっかり定着し、いきいきとした子どもたちの表現の場になっている。今年もメインステージでダンスライブを「ル・レイ・ダンススタジオ」の協力を得て、披露することができ、子どもたちにとって大きな経験や励みとなった。</p>	週2回 7月12日 8月3日	事務所 JOY201 吉田町	10～12人 10人 50人

	<p><b>サマーキャンプ</b> 恒例のサマーキャンプを開催 事前の下見から企画を高学年実行委員が進め開催、異年齢の交流、体験の場になった。雨天のため、小浜キャンプ場での宿泊を断念、11日のみの交流会に変更。</p>	8月11.12日	菊が浜事務所	16人
	<p><b>こどもまつり</b> 好天に恵まれて、子どもたちが遊べる場、交流の場として大盛況でした。今年も、福祉専門学校の学生の協力や会員の応援でスタッフ人員が確保できたことも大きな要素でした。</p>	5月10日	土原グラウンド	約300人
	<p><b>あ・そ・び・ば</b> 子どもの居場所づくりの支援として、開催。</p> <p>第1回 ロボット工作 動くロボットを製作。20人募集のところ50人が応募、急遽30人に増やして実施。萩工業高校（11人）の協力を得て、充実した活動ができた。</p> <p>第2回 絵本とつなぐアート体験 子ども文化交流フェスを受けて、事前にはらぺこあおむしを題材に、読み聞かせとコラージュのワークショップを開催。作品は3月6日のオープニング山口会場で展示。</p>	8月5.6.7日	事務所	30人
	<p>第2回 絵本とつなぐアート体験 子ども文化交流フェスを受けて、事前にはらぺこあおむしを題材に、読み聞かせとコラージュのワークショップを開催。作品は3月6日のオープニング山口会場で展示。</p>	2月28日	萩市民館	16人
	<p><b>県中高生交流会</b> 子ども劇場山口県センター主催、県内の中高生の交流会に参加。企画から、実施まですべて子どもたちの手により開催。萩からは実行委員 3人参加</p>	平成15年 3月29.30日	徳地少年の家	13人 (県内参加者 93人)
	<p><b>子どもの広場</b> 子どもたちの遊びの空間を企画、提供する。会員外の協力も得て、子どもたちの遊び場となり、お祭りを楽しんだ。</p>	8月3日	吉田町	不特定多数
子育て支援事業	<p><b>ピヨピヨの会</b> 0歳児から就園未満児までの親子を対象に遊びの広場、学習会、交流の場を提供。乳幼児を持つ親同士のコミュニケーションをはかる。月2回、自由遊びと企画会を組み合わせ定例化する。</p>	年20回 10:00～ 11:30	萩総合福祉センターほか	延べ 366世帯
	<p><b>子育てミニミニ講座</b> 身近な人や専門家を講師に、子育てについて楽しく学びあう講座を企画、実施。</p> <p>第1回 のびのび育って 講師 今川元治先生（みどり保育園長）</p> <p>第2回 子どもの成長と絵本とおもちゃ 講師 梅本美樹（子どもの友社）</p> <p>第3回 すてきな笑顔のために 講師 内田幸子（家庭教育相談員）</p>	10月16日 12月13日 3月6日	萩総合福祉センター 事務所 萩市民館	1回30人 16人 20人 13人
	<p><b>その他</b> KRYテレビ「はつらつ山口っ子」モニターを委託されモニター報告をする。</p>			25回 延べ50人
	<p>子どもと文化に関する活動支援</p> <p>自主的絵巻集団「べっぴんしゃん」による学校ほか施設の訪問公演（無料）の支援</p>	年22回	市内近郊の学校、施設	延べ1561人

	セミナー参加や地域のブロック、サークル交流会等活動支援。	年数回		
	ストーリーテリング（お話の会）昔話や童話の世界を語ることによって、本の世界を伝える。	学習会 11回	萩市民館	延べ 47人
	おもちゃ絵本展 子どもの発達を考えたおもちゃや絵本の展示を行う。たくさんの方が興味を持って入場され、子どもセンターを知らせるにも良い機会となる。 また、子育てミニミニ講座をサロン形式で同時開催したためとても好評だった。	12月13日	事務所	不特定多数
子どもと文化に関する活動広報事業	子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動（チラシ、パンフレットの作成ほか） 機関紙「フレンド」発行、ボランティアフェスでの会の紹介パネル作成。			
子どもの権利条約推進事業	ニュースなどで広報、啓発。 目で見てわかるように画像挿入を増やしたため、ニュース12月発行紙から、カラー印刷で発行。ホームページを平成16年度開設を目指して作成中。	ニュース11回		